

災害共済給付ナビ

【特集】

幼稚園・保育所等の事故防止に向けて
～自分事にする～ …p.1、2

【災害共済給付に関するお知らせ】

請求時の留意点について

「様式ダウンロード」ページを更新しました！

災害共済給付オンライン請求システムのユーザID・
パスワードを今一度ご確認ください！ …p.3、4

知って防ごう重大事故！ …p.5

メンテナンスに伴うシステム停止のお知らせ … p.6

オンラインセミナー開催のお知らせ … p.7

vol.

03

令和5年12月号



[特集]

幼稚園・保育所等の事故防止に向けて

～ 自分事にする ～



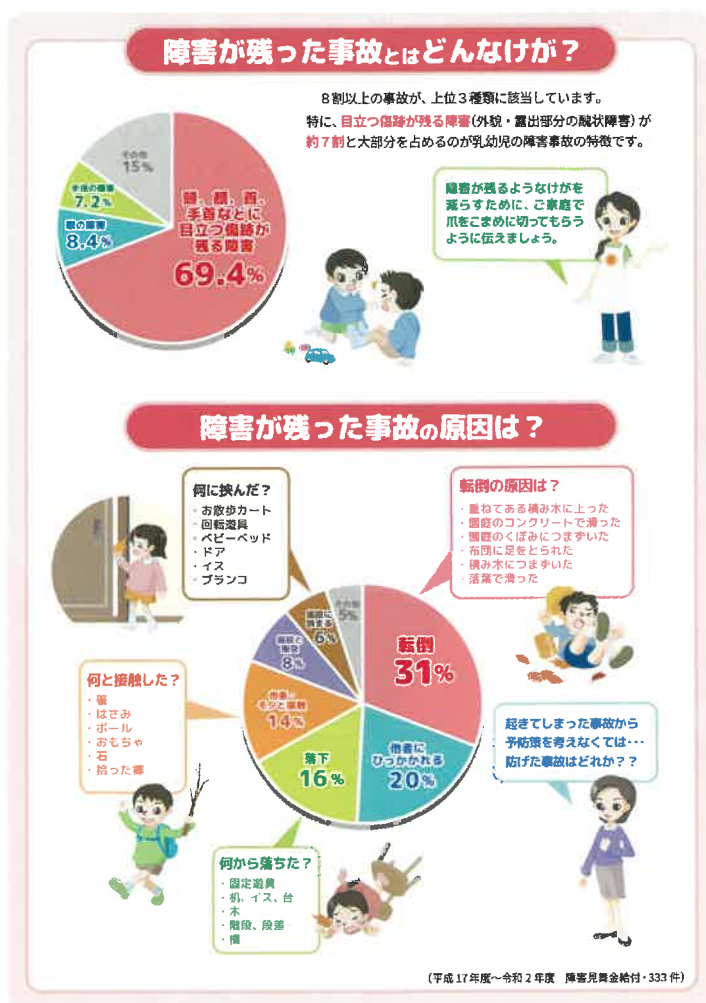
こどもの事故が後を絶ちません。その原因は、施設・設備の点検不備、保育者の不十分な監督、こどもに対する理解不足など様々です。事故防止のために私たちは何をすべきか、保育者と幼児の視点で考えます。

十文字学園女子大学
教育人文学部 幼児教育学科
教授 桶田 ゆかり

● 保育者の視点 情報を引き寄せる

こどもの事故の内容は、様々な機関から報告されています。その情報をどのように活用していますか？「うちはこの事故は関係ない」と終わりにしては、事故は減りません。令和5年3月に日本スポーツ振興センターより発行されたパンフレット『なくそう！保育中の事故』には、事故によって障害が残った体の部位やその原因がまとめられています(右図)。

必要なことは、この資料から障害が残る事故を知ることだけではありません。例えば、自園では障害が残るような事故は起きていないが、それはたまたまだったのかもしれない。転倒は毎日のように起きている。**大きな事故にならないためには何をしたらいいのか、と他園の事故を自園に引き寄せ、「自分事」にして考えることが必要なのです。**事故のニュースを聞いて「うちはバス通園でないから置き去り事故は関係ない」ではなく、「登園直後、遠足や散歩等の移動前後の人員把握と報告は徹底しているか確認する」と自園の問題に変換すること、イメージを広げることが大切なのです。様々な情報は、広範囲での平均値です。「うちの園では?」「私のクラスの子なら?」と、保育者一人ひとりが自園のこどもの姿を浮かべて考える。**隣のクラスであったヒヤリ・ハット事例を園内で共有し対策を園全体で考える。**このように全職員が危機管理意識を持ち改善しようとする姿勢が事故を減らします。



パンフレット『なくそう！保育中の事故』 p.2

● 幼児の視点 日々の遊びや生活を通して危険予測・危険回避能力を育む

各園では、幼児の一般的な発達理解だけでなく、自園のこどもたちの心身の発達、地域の実態などを踏まえて定期的な安全指導を計画していると思います。しかし、**定期的な安全指導だけではこどもたちには浸透しません。**幼児期の学びは、環境に関わる直接体験を通して得られます。安全指導をしてこどもたちが「分かった」と言ったことはウソではありませんが、本当に理解できている（安全な行動や判断ができる）わけではありません。こどもたちが安全についての構えを身に付けるには、**こどもたちにとっての「自分事」である日々の遊びや生活の中で具体的に体験していることと、安全指導の内容を結び付けることが必要です。**

こどもたちの実態から、保育者が意図的に積み重ねたいことも見えてきます。例えば、皆さんの園のこどもたちは、階段を降りるときに足を一段ずつ揃えずに降りられますか？ 転びそうになったとき、とっさに手を出して自分を支えられますか？ こどもは大人に守られる存在です。しかし、守られたままではこどもたちは成長できません。**楽しく安全に遊ぶことができるようになるには、自分の体を動かし頭と心も使って十分に遊ぶことが大切です。**環境に関わるということは、こどもによって様々な多少の危険が伴います。環境に繰り返し関わり、やってみたらできた、危なかったけど成功した、うまくいかなかったという体験が、危険予測能力や危険回避能力の育成につながります。また、学級のみんで取り組む鬼遊びやゲームなどの集団遊びでは、ルールに沿い相手の動きに応じた自分の動きが必要になります。今、自分はどのように動いたらいいかの判断も必要になります。災害時に大人の指示に従うことは重要ですが、言われたことだけしている生活の中では自分を守るという気持ちは育たないかもしれません。日常生活の中で判断する機会を作ること、時には小さな失敗もして、自分が人の話を聞いたり周りをよく見たり考えたりしなくてはいけないと実感できます。自分が大切にされ、友達とけんかもしつつ一緒に過ごす楽しさを積み上げていくことで、自分も友達も大切にしようという心が育ちます。



幼稚園・保育所等の事故を防ぐ特効薬はありません。しかし、こどもたちの日々の遊びや生活の中には、自分や友達の身を守ることができていく要素がたくさんあります。**園生活を送るに当たり、こどもたちが主体となって生活し遊ぶ中で安全についての構えが身に付いていくことを、保育者が意識することが何より大切なのです。**保育者が自身、また園の保育の質を高めようとする地道で誠実な努力が、こどもたちの安全・安心な生活につながります。

請求の前に、ご確認ください！

～速やかな給付のために～

提出された書類に不備があると、請求に係る手続きが再度必要となり、学校（保育所等）・設置者のみなさまの事務負担が増えるばかりでなく、保護者の方に速やかに給付金をお支払いすることができなくなります。

よくある照会事例

- 災害発生の状況の詳細が分からない。
- 「高額療養状況の届」が添付されていない。
- 医療費総額が5,000円（請求点数500点）未満である。
- 「災害報告書」で報告された受傷部位と「医療等の状況」に証明された部位が異なる。
- 災害発生日に疑義がある。（例：災害発生日が診療開始日より後の日付となっている。）

請求漏れはありませんか？

受診した月から2年間請求を行わなかった場合は、時効により給付が受けられなくなります。



確認ポイント

災害報告書

- 正しい災害発生日及び災害発生の状況（何をしていたか等）が報告されていますか？
- 受傷部位は「医療等の状況」に証明された部位と同じですか？
- 災害ごとに申請されていますか？

※複数災害の療養が1枚の「医療等の状況」に証明されている場合、災害ごとの入力が必要になります。
入力の方法については、「災害共済給付オンライン請求システム操作マニュアル」をご参照ください。

医療等の状況

- 初診から治ゆまでの医療費総額（点数）が5,000円（500点）以上になっていますか？
- 証明日・医療機関所在地及び名称・氏名に記載漏れはありませんか？

添付書類

- 単位療養額が70,000円（7,000点）以上の場合に「高額療養状況の届」を添付していますか？
※助成制度利用時は省略可
※「高額療養状況の届」の詳しい記入方法については、災害共済給付Webの「様式ダウンロード」ページに説明動画を掲載していますので、保護者の方に周知いただく等ご活用ください。
- 「治療用装具明細書」には領収書の写しが添付されていますか？
また、保護者記入欄に記載漏れはありませんか？

※部活動の計画表は、活動日・場所にかかわらず省略できます。
ただし、審査上必要がある際に、添付をお願いする場合がございます。



JSC発行の「災害共済給付請求事務ガイドブック」もご活用ください。



よくあるご質問、請求に必要な様式は災害共済給付Webをご覧ください！

<https://www.jpnsport.go.jp/anzen/>



請求に関するお問い合わせは、担当の地域事務所へご連絡ください。

独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付事業部

災害共済給付 Web「様式ダウンロード」ページを更新しました！

《「高額療養状況の届」記入方法に関する説明動画を掲載！》

災害共済給付金の支払請求における照会事例の中で、「高額療養状況の届」の添付漏れや記入誤りが散見されることから、「**高額療養状況の届**」の提出条件や記入方法について詳しく説明した動画を災害共済給付 Web の「様式ダウンロード」ページに掲載していますので、「高額療養状況の届」の作成時に活用くださるよう保護者の方にご周知ください。

《「年度途中の名簿の追加等について」の記入方法を掲載！》

契約・名簿更新後に転入・新規入学(園)があった場合又は長期欠席者が復学し加入する場合は、様式「年度途中の名簿の追加等について」を設置者から各地域の給付担当課(6ページ参照)に提出してください。詳しい記入方法については、災害共済給付 Web「様式ダウンロード」ページに掲載していますので、書類作成時にご活用ください。



【「年度途中の名簿の追加等について」提出時の注意点】

- **5/2 ~ 3/31** に転入等があった児童生徒等を報告してください。名簿更新時に報告いただいた方を重複して報告することがないようにご確認ください。
- 転入等があった日の属する月の翌月の**10日までに報告**してください。期日までに報告があった場合は、転入等があった日以降に発生した災害が給付対象になります。期日を過ぎて報告することがないようにご注意ください。
- 掛金は、**令和6年度の名簿更新時**にお支払いいただくことになります。
- 提出時に必ず写しの保管をお願いします。

災害共済給付 Web「様式ダウンロード」ページ

<https://www.jpnsport.go.jp/anzen/saigai/downroad/tabid/81/Default.aspx>



災害共済給付オンライン請求システム(システム)のユーザID・パスワードを今一度ご確認ください！

年度初めにお手続きいただく名簿更新(契約更新)時に、システムにログインするためのユーザID・パスワードに関する問い合わせを多くいただきますため、令和6年度のお手続きに向けてユーザID・パスワードの確認はお早めをお願いします。

なお、名簿更新(契約更新)は、インターネットを利用したシステムで行っていただくことにより、システムで作成できる書面の提出が不要となり、お手続きをスムーズに行うことができます。名簿更新(契約更新)の際は、システムを是非ご利用ください。

◆ ユーザID・パスワードが分からない場合 ◆

各地域の給付担当課にお電話いただくか災害共済給付 Web から申請をしてください。

パスワード初期化及びユーザID再発行申請フォーム

<https://www.jpnsport.go.jp/anzen/saigai/tabid/1984/Default.aspx>



知って防ごう重大事故！

独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）では、学校等の管理下で発生した重大事故等について、未然防止に役立てていただけるよう「死亡見舞金」「障害見舞金」「供花料」「歯牙欠損見舞金」を支給した全事例や負傷・疾病の基本統計、学校種ごとに専門家が執筆した「学校等の生活における事故防止の留意点」を掲載した刊行物『学校等の管理下の災害』を毎年発行しています。

過去の事例を参考にすることで、事故が起きる原因やその傾向等を知り、再発防止策を講じることができます。

学校等の重大事故の未然防止にぜひご活用ください！



事故を防止するには具体的に
何に気を付けたらいいだろう…



事故防止のための職員研修の時、
事故の具体例があったら
説明しやすいけれど…

そんな時には！

『学校等の管理下の災害』を見て
事例を活用しましょう！



学校等の管理下の災害



全事例は、刊行物『学校等の管理下の災害 [令和5年版] 令和4（2022）年度データ』及び災害共済給付Webに掲載します！（1月掲載予定）

※災害共済給付から得られた事例を、JSCで整理し、公開しており、以下はその一例です。

死亡見舞金

学校行事	運動会・体育祭	小6・女	心臓系突然死	
<p>学校外の運動場で、運動会の100m徒競走に参加後、着順旗の前で座っていた際、けいれんと呼吸困難で倒れた。教員が上半身を支え、座位にさせたが、呼吸がさらに荒くなり、顔にチアノーゼが見られ、意識レベルが低下した。教員が頸動脈を触診するが触知できず、担架で救護テントへ移動し、AEDによる除細動と心肺蘇生処置を行った後、救急搬送されたが、心室細動により翌日死亡した。</p>				
課外指導	体育的部活動	野球	高2・男	中枢神経系突然死
<p>学校外の運動場で野球部の練習試合中、キャッチャーをしていて、バッターが打ったファウルボールが左鎖骨上部付近にプロテクターの上から当たり、そのまま1塁側に倒れ意識喪失した。すぐに胸骨圧迫を開始するとともに、AEDを装着したが「ショック不要」との診断であった。救急車とドクターヘリにて搬送されたが、心肺停止蘇生ののち約2か月半後に死亡した。</p>				

障害見舞金

保育中	保3歳・男	外貌・露出部分の醜状障害	
<p>保育中、保育室でブロックの片付けをしていた際、友人とけんかになり、相手の爪が右頬に当たり負傷した。右頬部擦過創により、右頬に線状痕が残った。</p>			
休憩時間	昼食時休憩時間中	小5・女	手指切断・機能障害
<p>昼食時休憩時間中、他の児童と2人で、コンテナを配膳室へ運んでいた。本児童は進行方向に背を向けて進んでいたため後ろが見えず、配膳室の扉の角とコンテナの側面角で指を挟み負傷した。右第3指指尖部切断により、右第3指の一部を失った。</p>			

メンテナンスに伴う システム停止のお知らせ

日頃から災害共済給付オンライン請求システムをご利用いただきありがとうございます。
本システムの継続的、安定的な運用を図るため、以下の日程でシステムメンテナンスを行います。
システムメンテナンス期間中は、オンラインサービスを停止しますので、システムをご利用いただけません。

停止期間 ①

令和5年12月28日(木)22時～令和6年1月4日(木)7時
システムのご利用再開 令和6年1月4日(木)7時から

停止期間 ②

令和6年2月9日(金)22時～令和6年2月13日(火)7時
システムのご利用再開 令和6年2月13日(火)7時から

皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



【日本スポーツ振興センター災害共済給付事業部地域担当窓口一覧】

担当課	担当地域	TEL	FAX	所在地
仙台業務推進課	北海道、青森県、岩手県、宮城県、 秋田県、山形県、福島県	022-716-2106	022-264-7633	〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1-5-15 日本生命仙台勾当台南ビル8階
東京給付課	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、 千葉県	03-5410-9162	03-5410-9136	〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1 日本青年館・日本スポーツ振興センタービル6階
	東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、 長野県	03-5410-9163		
名古屋業務推進課	富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、 愛知県、三重県	052-533-7821	052-562-0688	〒450-0001 愛知県名古屋市中村区那古野1-47-1 名古屋国際センタービル16階
大阪業務推進課	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、 和歌山県	06-6456-3601	06-6456-3666	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第4ビル7階
広島業務推進課	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、 徳島県、香川県、愛媛県、高知県	082-511-2822	082-222-2827	〒730-0011 広島県広島市中区基町9-32 広島市水道局基町庁舎10階
福岡業務推進課	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、 宮崎県、鹿児島県、沖縄県	092-738-8720	092-771-7763	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-8-15 福岡ガーデンパレス4階

※お問合せ受付時間：8：30～17：15（土日祝日、年末年始を除く。）

発行日：令和5年12月(第3号)

編集・発行：独立行政法人日本スポーツ振興センター 災害共済給付事業部(調査課)

こどもを事故から守りたい!

オンラインセミナー

小学校、幼稚園・保育所等における 事故発生状況の傾向と事故防止

令和6年1月24日 水

13:30 ~ 15:30

JSCの災害共済給付の実施によって得られる事故情報によると、学校、幼稚園・保育所等においては、毎年約80万件の負傷・疾病が発生しています。

これらの事故を予防し、こどもを事故から守るために、学校等における事故防止の意識啓発と、事故防止関係の取組の充実を図ることを目的として、有識者による講演と受講者参加型ワークショップを組み合わせたオンラインセミナーを開催します。

開催形式 Zoomミーティング

対象者 学校・保育所等の関係者(教職員、保育士、設置者、保育行政担当者等)、保護者の方

申込み締切 令和6年1月17日(水) (セミナー開催日の1週間前)
(ワークショップの申込みは、定員になり次第締め切り)

● 13:30 ~ 開会

講演① 学校等におけるこどもの事故の現状と課題
(約20分)
常葉大学教育学部 生涯学習学科 教授 木宮 敬信

講演② 小学校、幼稚園・保育所等における事故防止の留意点について
(約20分)
国立研究開発法人産業技術総合研究所 人工知能研究センター 主任研究員 北村 光司

参加費は
無料です!

● 14:30 ~ 同時にスタート (約55分)

受講者参加型ワークショップ (A・B・C各定員10名程度) **グループ参加も可**

ファシリテーター：桐蔭横浜大学スポーツ科学部 スポーツ教育学科 教授 佐藤 豊

A: 設置者・管理職・
保育行政担当者向け

学校・園経営管理者のための事故対応の考え方
講師：常葉大学教育学部 生涯学習学科 教授 木宮 敬信

B: 教職員・保育士・
保護者向け

教室・保育室、体育館など屋内での事例から学ぶ事故防止
講師：十文字学園女子大学教育人文学部 幼児教育学科 教授 桶田 ゆかり
講師：さいたま市立高砂小学校 養護教諭 辻野 智香

C: 教職員・保育士・
保護者向け

校庭・園庭、通学中・通園中、校外・園外など屋外での事例から学ぶ事故防止
講師：葛飾区立柴又小学校 校長 木間 東平

日頃気になっていることを、
有識者の先生を交えて情報
交換しましょう!!

● 15:30 閉会

(敬称略)

